

議事日程第3号

令和3年 第4回 錦江町議会定例会議事日程

開会の日時

令和3年11月19日（金）午前10時開議

開会の場所

錦江町田代支所議会議場

日程第1 諸般の報告

- 1) 陳情の受理報告
- 2) 所管事務調査結果報告

日程第2 議員の派遣について

日程第3 委員会の閉会中の特定事件の調査について

日程第4 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査について

閉 会

## 令和3年 第4回錦江町議会定例会 会議録

召集の年月日 令和3年11月19日  
召集の場所 錦江町議会会議場(田代支所庁舎)

応招（出席）議員	1番	久保 勇太	
	2番	久本 晃	
	3番	厚ヶ瀬 博文	
	5番	浪瀬 亮祐	
	6番	染川 金治	
	7番	池田 行徳	
	8番	川越 裕子	
	9番	小吉 昭弘	
	10番	水口 孝俊	
	11番	中野 徳義	
	12番	落司 道子	
	13番	笹原 政夫	
不応招（欠席）議員			

<b>地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名</b>			
町 長	木 場 一 昭		
副 町 長	有 村 智 明		
教 育 長	畑 中 清 和		
総 務 課 長	坪内 裕二郎	産業振興課長	宮 園 守
政策企画課長	高崎 満 広	観光交流課長	福 園 奈 美
未来づくり課長	中島 裕 二	住民生活課長	舞 原 利 博
健康保険課長	猪鹿倉 勝志	産業建設課長	荒 木 義 文
介護福祉課長	池之上 和隆	農業委員会事務局長	落 司 毅
住民税務課長	川路 洋 志	教育課長	今 熊 武 朗
会計課長	永吉 和 幸	財政管財係長	山 王 洋 介
建設課長	岩下 和 文	総務課総務チームリーダー	菖 蒲 洋 二
職務のため出席した者			
議会事務局長	冨 尾 俊 一		

## 令和3年 第4回 錦江町議会定例会会議録

令和3年11月19日(金) 10時00分  
錦江町田代支所議会議場

	(開 会・開 議)
○笹原議長	おはようございます。これから本日の会議を開きます。
	(日 程 報 告)
○笹原議長	本日の議事日程は、あらかじめ配布いたしましたので、ご了承願います。
	日程第1 諸般の報告
○笹原議長	日程第1、諸般の報告を行います。本日までに受理した陳情は、お手元に配りました陳情文書表のとおりとしましたので報告します。 次に、文教産業常任委員長が実施しました、所管事務調査の結果について委員長から報告を求めます。厚ヶ瀬文教産業常任委員長。
○厚ヶ瀬文教産業常任委員長	はい。
	(厚ヶ瀬文教産業常任委員長 登壇)
○厚ヶ瀬文教産業常任委員長	おはようございます。それでは、報告いたします。 文教産業常任委員会において、所管事務調査を実施しましたので、その経過と結果について報告します。  <b>1、調査事件</b> 代替作物の比較検討について  <b>2、調査の経過</b> (1)令和3年10月5日に錦江町さつまいも振興会の研修に産業振興課、大隅地域振興局農政普及課と共に同行し、町内2箇所のさつまいも圃場、鹿屋市吾平町の農研機構試験圃場及び水田種芋圃場を視察し、その後の検討会に参加し調査しました。 (2)令和3年11月1日に産業振興課長、辺志切係長、祝主査、そして鹿児島きもつき農協南部ブロックの園芸農産課長及びチームリーダー、鹿児島くみあい食品の直販営業課次長及び生産企画課主幹、鹿児島県経済連野菜振興課の営農指導員に出席いただき、葉たばこ廃作に伴う転換作物などについて、説明を求め、調査しました。

### 3、調査の結果又は概要

サツマイモの基腐病の状況について、宿利原団地の紫まさり、こないしん及び池田団地のコガネセンガンの単独圃場及び、コガネセンガン・しろゆたか・紅はるかの混合圃場を調査し、コガネセンガンにおいて病気の発生が多く見られ、混合圃場においてはその様子が顕著に確認されました。

農研機構吾平試験圃場では多種の試験状況について説明を受け、九州200号、九州201号などの病気に強いであろう品種については、県単位でないと苗の導入はできないとのことでした。

また、発病リスクの少ない遊休地の水田を利用した吾平水田種芋の実証圃は、基腐病の発生もなく生育は順調で、水田利用において病気の発生が抑えられる事例として確認したところです。

検討会では、大隅地域振興局農政普及課から、健全な種いも生産のポイント及び基腐病次年度対策について、健全圃場の確保のために前年に冠水した乾田で殺菌効果のある薬剤で土壌消毒を行い被覆を行うことや、バイオ苗から増殖した苗を使用して種いもを生産すること、また、収穫後の残渣対策、アミスター散布による対策などの説明がありました。

11月1日、産業振興課、鹿児島きもつき農協、鹿児島くみあい食品(株)、鹿児島県経済連の出席をいただき、代替作物について、葉たばこ廃作に伴う転換品目を中心として提案があり、産業振興課長から今回のこの提案については茶の低迷、さつまいも基腐病対策、廃作したたばこ農家への支援の観点から提案する旨の説明の後、農協、くみあい食品、経済連からの説明を受け調査したところです。

本年廃作された葉たばこ14農家へカウンセリングを行い、令和4年産の意向調査によると、廃作面積2,490aのうち、2178.9aに作付けし、内訳として澱粉・青果用を中心にサツマイモを1,053.9a、干大根307.9a、青首大根282.1a、ごぼう200a、飼料180a、未定が110aとなっているようです。

このような中で提案される代替作物の品目としては、現在作付されている品目で、加工用かぼちゃ、夏・秋ごぼう、澱粉用・加工用さつまいも、加工用ばれいしょ、しょうが、冷凍販売用さといも、春いんげんなどがあり、品種、手取り単価、予想反収、資材代、収穫時期など、詳しい説明がされたところです。

委員から、「さつまいもの紅はるかは、病気に弱く相当やられている。そのため病気に強い品種の紅まさりがあるようだが、どうなのか。」の質疑に、「農研機構がサンプルを提供してもらい加工場で確認してから、推進していきたいとのことであるが、紅まさり自体は前からある品種であり、

	<p>なぜ、これまで栽培されなかったのかという疑問もあるが、他の地域では、栽培したいとの声もあるところである。県内の基腐病の状況を見ると、さつまいも一作のところほどひどく、他の野菜との複合経営の所はそれほどではないので、今、様々な機関が協力し、検討している状況である。」「代替作物を栽培する場合に、機械導入などのハード面や栽培・管理などのソフト面について、情報収集はどうやって行うのか。」の質疑に「作物の導入が決定すれば、栽培ごよみ等を作成し提供していく。また、植付けから栽培過程での防除等について、現場での生産対策指導は行っていく。さらに、新品種については国・県の試験場等からの新しい情報は、すぐに生産者へ役場・農協を通じて伝達するシステムはできている。」などが出されました。</p> <p>以上のような調査結果を踏まえ、最終的に作目を決定するのは農家自身であり、この作目をという提案はなかなか難しいところでもあります。次期作の作付けに間に合うように代替作物の資料の提供と、今後も関係団体と継続的に協議検討を行っていただくことを要望します。</p> <p>以上、報告を終わります。</p>
	(厚ケ瀬文教産業常任委員長 降壇)
○笹原議長	これで諸般の報告を終わります。
	<b>日程第2 議員の派遣について</b>
○笹原議長	日程第2、議員の派遣についてを議題とします。お諮りします。議員の派遣については、お手元に配りましたとおりに派遣することにしたいと思えます。ご異議ありませんか。
	(「なし」と言う者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。したがって、議員の派遣については、お手元に配りましたとおりに派遣することに決定しました。
	<b>日程第3 委員会の閉会中の特定事件の調査について</b>
○笹原議長	日程第3、委員会の閉会中の特定事件の調査についてを議題とします。各常任委員長から、所管事務のうち会議規則第75条の規定によって、お手元に配りました特定事件の調査事項について、閉会中の継続調査の申し出があります。お諮りします。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。
	(「なし」と言う者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。したがって、各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。
	<b>日程第4 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査について</b>

○笹原議長	<p>日程第4、議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査についてを議題とします。議会運営委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元に配りました、本会議の会期日程など議会の運営に関する事項などについて、閉会中の継続調査の申し出があります。おはかりします。委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。</p>
	<p>(「なし」と言う者あり)</p>
○笹原議長	<p>異議なしと認めます。したがって、委員長からの申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定しました。</p> <p>ここで、町長の発言の申し出があります。これを許します。木場町長。</p>
○木場町長	<p>はい。</p>
	<p>(木場町長 登壇)</p>
○木場町長	<p>おはようございます。令和3年最後の本会議、そしてまた私の任期中の最後の議会にあたり、一言挨拶させていただきます。</p> <p>今年4月に議員改選により、3名の議員の方々が新たに当選されましたが、議員の皆様には4年間、お世話になりました。あっという間の4年間であったように感じます。地方創生に始まり、コロナ対策に終始した4年間のよう に思います。</p> <p>特に、農業関係におきましては、先ほど報告がありましたように、さつまいもの基腐病、チャトゲコナジラミや、茶価の低迷、たばこの廃作奨励による耕作者の減少など、本町の今後の農業のあり方について、まさに転換期を迎えていると感じたところでもあります。農地中間管理機構制度を活用して、認定農家に農地を集積し、土地利用型農業の推進を国は図ってきましたが、コロナ禍における農産物の状況、国際的な政治情勢、為替レートなど複数の要因により、今後の農業経営のあり方を考えさせられたと感じたところ でございます。国連は2017年の国連総会において、2019年から2028年を家族農業の10年として、加盟国や関係団体に対し、食料安全確保と貧困、飢餓撲滅を大きな役割を果たしている家族農業を推進しております。世界の農業生産量のうち、家族農業が生産している生産量は90%と言われております。農家戸数に関して、日本でも137万戸数のうち、134万戸が家族農業であり、97%が家族農業の経営であります。アメリカ、EU諸国においても同じ傾向 であります。このような状況から本町においても、家族経営で営農を確立するためには、施設園芸や高収益の作物等への変換を考える時期に来ていると考えます。また、労働力不足も農業に限らず、深刻な状況になりつつあります。取り組み始めている、農福連携の強化などを進める必要があります。</p> <p>地域医療の中核を担っております医師会立病院につきましては、移設建て</p>

替えに向けて協議中であり、その実現に向けて、さらに協議を進めていきたいと思っております。

昨年確認された新型コロナウイルスは、世界中に猛威を振るいました。幸いにして、本町では昨年 12 月に初めての陽性者が確認されてから、本日まで 12 名の陽性者が確認されました。死亡者、重症者は発生しておらず、医療関係者、役場職員、町民の皆様の協力の賜物だと考えております。定額給付金支給やワクチン接種につきましては、県内でもいち早く取り組めたことは大いに評価できる場所だと思います。今後は第 6 波対策として、3 回目のワクチン接種や、アフターコロナに向けた本格的な経済対策の具現化に向けた取り組みが速やかに取り組まなければならないと考えております。

人口減少問題につきましては、サテライトオフィスの誘致、ワーケーション、地域おこし協力隊の招致に取り組むと同時に、ゲストハウスの開設、空き家バンク登録推進などに取り組んできましたが、特に令和 2 年以降は、コロナ禍の状況で厳しい状況に追い込まれました。人口減少対策として、転入者を増やして、転出者を抑制することでもあります。本町の基幹産業である農業の振興を図ることで、その実現は可能ではないかと考えます。国が新たに発表した新規就農者への 1,000 万円の支援制度や、人手不足対策の作業用ロボット、IT、ドローンなどを活用したスマート農業の推進が大きな鍵を握るものと思っております。

在任中、ふるさと納税は 3 倍に増え、またコロナ対策のための寄附金やクラウドファンディングによる事業費の確保など、財源確保の方法が変わりつつあります。これはまさにインターネットなどの情報通信ツールを使った新たな資金確保の方法であります。情報発信の必要性、関係人口の拡大が重要な鍵だと感じました。

エネルギー関連につきましては、平成 30 年 9 月、木質バイオマス資源利用促進協議会を設立し、令和元年、再生可能エネルギーマスタープランを作成し、令和 2 年に木質バイオマス発電を稼働いたしました。そして、令和 3 年 7 月には肝付町、南大隅町 3 町合同でゼロカーボンシティ宣言を行いました。2050 年、カーボンニュートラルの実現に向けて、世界中が動き出しております。化石燃料などのエネルギー資源に乏しかった日本が今後、再生可能エネルギーで世界をリードしていくと思われまます。本町でも、再生可能エネルギーを農業を初めとした町内産業に普及させることで、新たな産業の創出につながるものと確信しております。

4 年間、町民の生活環境整備、安心安全な暮らし、町民所得の向上を目指して頑張ってきました。議員の皆様にはご協力、ご理解をいただき、ありがとうございました。引き続き、活力ある錦江町のまちづくりに邁進してまい

	りますので、よろしくお願ひ申し上げまして、議事終了のお礼の挨拶といたします。ありがとうございました。
	(木場町長 降壇)
	(笹原議長 登壇)
○笹原議長	<p>令和3年第4回議事定例会最終本会議にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本年も錦江町発展のために、町長、副町長、教育長をはじめ、各課長、職員の皆様、ご努力をいただき、大変ご苦労さまでございました。</p> <p>また、議員各位におかれましても錦江町での5期目の選挙が4月に行われ、新元議員3人を含めた12名の議員が当選し、町民全体の代表者として、さまざまな住民の民意の反映のために、お働きいただき感謝申し上げます。</p> <p>錦江町議会も、議会基本条例を基に町民の皆様とともに活動する議会づくりを目指して、子や孫へ希望あふれる未来を創りつなぐ錦江町のために、議員、力を合わせて頑張っていたところでありました。</p> <p>さて、本年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症のために、様々な行事が中止、あるいは縮小され、町民の皆様には、何かと不自由をおかけし、そして、生活様式の変化に苦労した年でした。</p> <p>このような状況の中、職員の皆様におかれましては通常の業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業及び、ワクチン接種事業の実施については、休日を返上しての業務など、一生懸命頑張ってくださいました。本当にご苦労さまでした。</p> <p>ところで、本年は7月の熱海での大規模な土石流災害発生以外には、大きな災害はなかったようですが、各地で地震が頻発しているようです。錦江町においても、10月6日大隅半島東方沖を震源とする、震度4の地震が発生しました。</p> <p>こういった中で農作物などへの影響する災害はありませんでしたが、3年ほど前から発生しているサツマイモの基腐病については、治療効果のある農薬購入の支援など行ったものの被害はこれまで以上に拡大している状況にあり、葉たばこ農家についても14戸の農家が廃作し、代替作物の検討も急がれるところです。</p> <p>また、鳥インフルエンザについても県内でも発生しているところであり、これから、厳重な防疫体制により、侵入を防いで行かなければなりません。</p> <p>10月には、新型コロナウイルスの緊急事態重点措置も解除され県内でも最近では、感染者ゼロの日が続いています。何よりも、新型コロナウイルスの一刻も早い終息を願ひ、これまで以上に錦江町の活性化が図られますよう、より一層議会と執行部が一体となって、さまざまな施策に取り組んでいかな</p>

	<p>ければならないと感じているところです。</p> <p>最後に、年末を控え慌ただしくなりますが、皆様方には健康に留意されますよう、ご祈念申し上げ議長の挨拶とさせていただきます。</p>
	(笹原議長 降壇)
○笹原議長	<p>これで、本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。</p> <p>令和3年第4回錦江町議会定例会を閉会します。</p>
	<b>散会 10:25</b>